

【都労委命令と JAL 闘争】

2月13日の18時「都労委命令と JAL 闘争勝利をめざす決起集会」が文京区内で開催、参加者が会場を埋め尽くした。解雇の根幹である「人員数」について「一切説明しない会社対応を不当労働行為と認定」都労委は JAL に命令を下す画期的！ JAL を追い込み、更なる大衆運動を広げて、勝利を目指す当事者と会場の決意で盛り上がった。集会は解雇当事者が舞台からのうた声で始まった。

◆山口宏弥 JHU 委員長

「JAL の体質は『沈まぬ太陽』そのままです。このままでは『鶴丸』は消滅します。日航の誤った経営体質が四つある。①御上(おかみ)意識②セキショナルリズム③先送り体質④無責任体質。経営破綻の前も後も変わらないのが日航だ。『文句を言えば山口と同じになるぞ』酷いこと言い続ける。今回の都労委命令をバネに皆さん頑張しましょう」。

◆指宿昭一弁護士

「本件の都労委命令は本当に画期的です。争議解決にストレートに役立つからです。更生計画を上回る解雇をしたことに問題を追求してきており、会社の説明せよ迫った。断行と争議解決に使える武器になる」。

◆赤堀正成ネットワーク共同代表

「国鉄争議がありました。皆さんご存知のように中曽根の行政改悪、総評解散、国労を叩けば日本の労働運動はそれで終わる。後に伝えられた NHK のインタビューに答えている。残念ながら、中曽根の言う通りになり、危機感をすごく感じます。この争議が始まって16年目に入ってますけれども、私たちの力は衰えず頑張る決意でいます。皆さん都労委命令をバネにして頑張しましょう」。

◆争議団決意表明

・近村一也乗員争議団長

「会社呼び出され面接を受けられ、『あなた達に会社に活躍する場所はない』と言われたが、『まだ目標に達していない。考えてくれないか』など一言もない。ただただ活躍の場がないを繰り返すだけ。当時の在籍人数を未だに明らかにしていない。この解雇は人数が目的ではない『モノを言う組合員がターゲットだった』のは明らかです」。

・鈴木圭子客乗争議団長

「この間の都労委傍聴をはじめ諸集会等々で多くの支援をいただき感謝申し上げます。全国ネットワーク、東京連絡会を作っていただき力になっています。これらの力が都労委命令が出た成果と思います。ありがとうございます」。

集会の終わりは、会場を埋めた全員で「がんばろー」大きな声で合唱して閉会した。